

新ネットワークでのパソコンとサーバの時刻の同期方法 Windows XP+桜時計編

2008/4/7 版

情報企画室ネットワークオフィス

Tel:2450

imr-net@imr.tohoku.ac.jp

パソコンの時刻を正確に保ちたい方は、正確な時刻を教えてくれるタイムサーバ(NTP サーバ)がありますのでご利用ください。ただし、WindowsXP と NTP サーバのプログラムの組み合わせが悪いようで、XP 標準の時刻同期で正常に時刻同期が行えないことがあります。そのため、XP 標準の時刻同期の設定を止めて、「桜時計」のような時刻同期ソフト(NTP クライアント)をインストールして動かすことを推奨します。

XP 以前の Windows は、標準機能で NTP による時刻同期はできませんので、別途 NTP クライアントをインストールして使用する必要があります。

この解説では、例として「桜時計」の設定例を示しますが、その他にも Windows で動く時刻同期ソフトがありますので、各自の好みでお使いください。

参考 URL <http://www.forest.impress.co.jp/lib/inet/servernt/setwtch/>

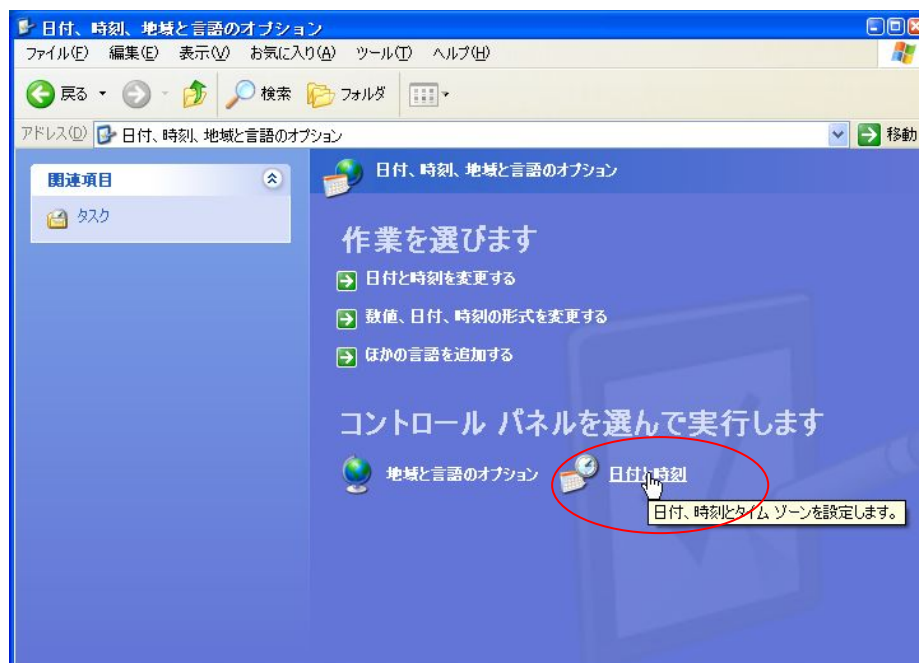
なお、ソフトによっては Windows 側の設定をもう少し調整しないと動作時にエラーが出る場合もあるようですのでご注意ください。

XP 標準の時刻同期設定の解除

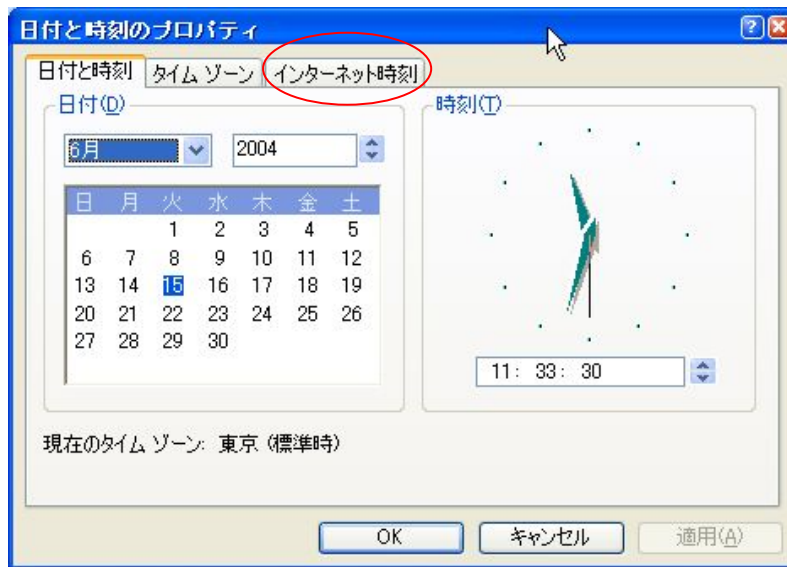
- (1) 「スタート」 → 「コントロールパネル」とたどり、「コントロールパネル」を表示
「日付、時刻、地域と言語のオプション」を選択



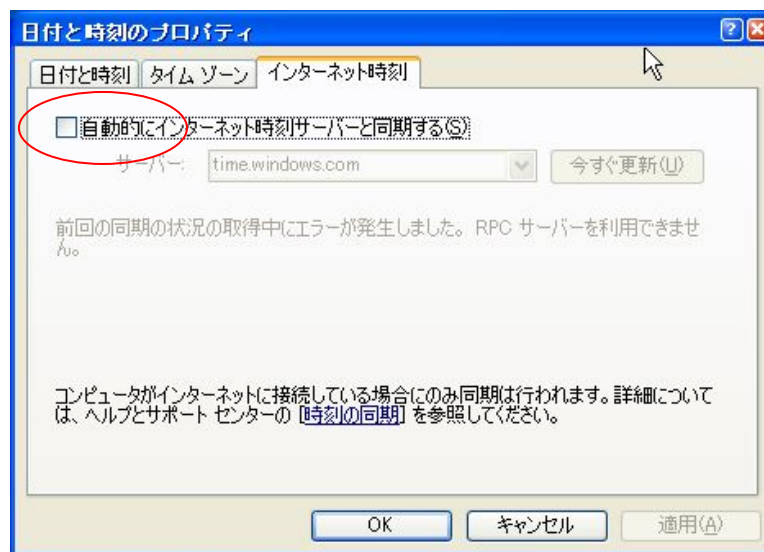
- 「日付と時刻」を選択



- 「日付と時刻のプロパティ」が出るので「インターネット時刻」タブを選択



「自動的にインターネット時刻サーバと同期する」のチェックが入っていたらチェックをはずして解除します。

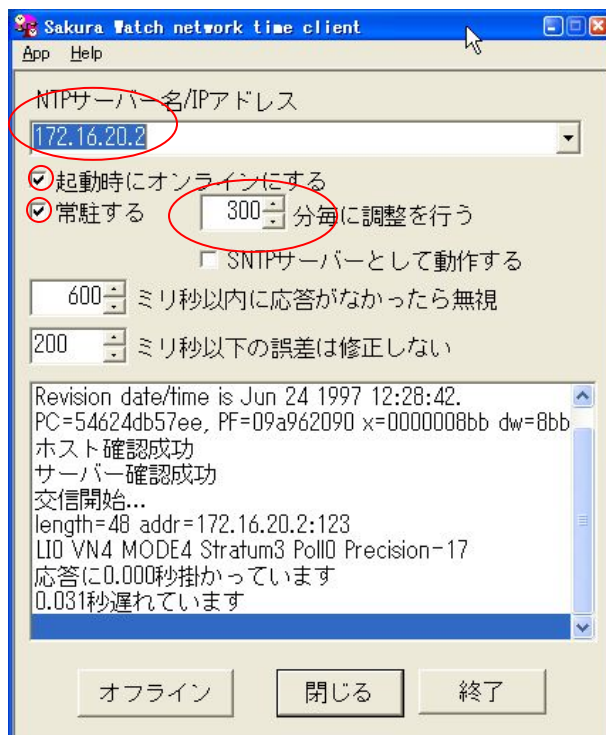


桜時計のインストール

入手先 <http://www.venus.dti.ne.jp/~uno/index2.html>

最新版ダウンロード: 桜時計 0.2.1 の「アーカイブ」から
「skrw021.lzh」が入手できます

入手後、適当なフォルダで展開して起動し、以下のような設定をします。



設定項目と内容

NTP サーバの IP アドレス	172.16.20.2
「起動時にオンラインにする」をチェック	ソフトの起動時に同期を取ります (デスクトップでは、設定しておいた方が便利)
「常駐する」をチェック	タスクトレイに動作中を表示して 定期的に同期を取ります (デスクトップでは、設定しておいた方が便利)
「xxx 分毎に調整を行う」	例では 300 分(5 時間)毎にしています 1 日数度程度で時間は正確に保てますので それほど短くする必要はありません 何度も同期を取らないと時刻が狂う場合 パソコンの内蔵ボタン電池が消耗している ことが多いですので、内蔵ボタン電池の 交換をお勧めします。

デスクトップパソコンの場合、上記の設定でスタートアップに登録しておけば、起動時に自動で時刻を合わせます。ノートパソコンを移動先でも使用する方は、スタートアップに登録しても移動先で使用できませんので、スタートアップに登録せず、デスクトップにショートカットを作っておいて、必要な時に手動で同期を取る利用の方が便利かもしれません。